



次世代にTUNAGUまちづくり
～まちまみ維持と意思をつぐ人をさがして～
TUNAGU ☆大塚 妙子☆



旧五十嵐歯科医院

きゅういがらししかいいん

保存活動で文化を醸成する

DATA

- 登録名称：
旧五十嵐歯科医院
- 登録年：
平成12年(2000)
- 構造形式：
木造2階建、瓦葺
- 建築年代：
大正3年(1914)頃
- 旧用途：
病院兼住宅
- 活用内容：
地域交流施設
- 所在地：
静岡県庵原郡蒲原町
蒲原三丁目
- 所有者：
蒲原町



洋風の外観



住民がガイドする修理工事見学会



土壁こね大会の様子



広間を使った大型絵本の発表会

旧五十嵐歯科医院は、旧東海道筋の蒲原宿に建つ木造2階建の洋風建築で、医院併用住宅として大正3年頃に建てられた。当初は和風の町屋だったが、増築によって現在の洋風の外観となった。

平成10年に町の所有となった本建物は、活用の検討段階から、「旧五十嵐邸を考える会」をはじめとした地域住民が積極的に関わり、さまざまな提案が実行された。工事前には古い史料や道具類の片付けを行い、工事中には住民が案内人となった見学会や、壁土塗りの体験イベントなどを開催し、活動を通して建物への関心を深めていった。

改修工事が完了し、平成15年から公開されている。町の委託を受けた住民団体が建物の管理を行い、演奏会などのイベントを始めている。

ツナギたいオモイをきいてみた！

次の世代に引き継いでほしいもの

自由に書い下す。

心のあたりのこと

- ・昔の良いものを大切に残してほしい。
- ・名所旧跡、景色、言い伝えられている話、言葉。
- ・蒲原宿のまちのみ (建物)
- ・松の御殿山、城山

20年後の蒲原はこんなほしい

自由に書い下す。

- ・いづれかな子ども達の声の聞かれるまち
- !! 若者の活気は年寄りのよろこび!!
- ・若い世代が定住できるまち。(魅力あるまちづくり)
- ・自然を残して、あつかわらねばならない。
- ・宿場まちとして残っている建物や歴史文化が、少しでも多く残ってほしいかな? (人の心の中にも)

蒲原の悪い所

- ・バリエーションが少い
- ・駐車場が少い
- ・津波は大丈夫?
- ・ボランティアが少い
- ・宣伝が下手
- ・子どもが、地域の歴史を知れない
- ・伝へる人が少ない
- ・若い世代が外に出る
- ・昔の行事や習慣を伝えてほしい (とてお祭、様上)

たくさん思うようになった (昔は家が解放的、近所のつながり)

・無感心の人が増え、温度差がある

・身近に商店が少くない

(将来、買物難民が増える)

・いかにイベントに無関心な人が多々いる。

・空室が目立つ

・若者が少ない(子供)

・(お祭りの場合) 少人数で楽しむ(お祭りの)

・何時でもどこでも運動器具の置いてある場所がない (お金を払って行かないとできない)

蒲原の良い所

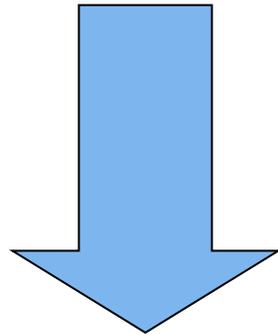
- ・豊か(歴史・文化)
- ・神社やお寺
- ・蒲原城跡
- ・地名
- ・和歌宮神社
- ・蒲原町史
- ・気候が比較的よい
- ・人のつながり、あたたかさ
- ・町の愛着
- ・地域の行事
- ・(盆など) 入浴が楽
- ・宿場まち
- ・石が浜が「有子」の遠方から遊びに来ている。
- ・地域ごとにがんばる人たちがたくさんいる!
- ・五ヶ所神社
- ・通い間
- ・土地改良して、田舎がまた、
- ・車の交通量が少ない
- ・道すがら昔と変わらぬ
- ・町の人達が親切
- ・背後にある山の緑(季節により色が変化する)
- ・宿内に国登録文化財が6ヶ所ある。

nedoco × KANBARA



もとめる交流レベル

住む、参加する、交流する、遊びにくる



住む

熱海の移住者 × ゲストハウス



なぜ、移住して楽しいのだろうか

- 仕事がそれなりにある。
- 仕事にやりがい、楽しさがあるのではないだろうか。
- ライフスタイル→余暇が充実できているのではないだろうか・・・。
- 同じように熱海好きな仲間がいるのでは・・・。

仕事 × 余暇の充実 × 仲間

都心、都会からの移住者

あたま・MARUYAのしくみ

様々な体験プログラム・新しい宿泊の仕方の提案
交流ができる宿

